

# はばたけ！小郡ジュニア歴史博士！

☎ 75・7555  
文化財課文化財係

## 大賞

### 「小郡市とカモの関わり」



はやし こうたろう  
林 洸太郎さん(のぞみが丘小6年)

テレビの名産品特集がきっかけで「小郡の名産品は何だろう？」と思った林さん。江戸時代から有名だった小郡のカモ猟と鴨料理に興味を持ちました。

本やウェブでの調査だけでなく、埋蔵文化財調査センターや現在市内唯一の鴨料理専門店である「さとう別荘」(下町)への取材を敢行。カモの生態、小郡の猟の歴史や方法を分かりやすくまとめました。

まさか大賞がもらえるとは予想していませんでしたが、時間をかけた力作なので嬉しいです。研究を通じ、自分の町にはまだ知らないことがたくさんあると気づき、今ではカモとも関わりの深い小郡のため池に興味を持つようになりました。時代とともに失われつつある小郡とカモのつながりがまた復活するといいなと思います。

### 小郡の伝統猟法「無双網」と鴨料理

小郡のカモ猟は「無双網」という特別な方法で行われ、現在も続けられています。無双網で捕まえたカモは、鉄砲での猟と比べ、肉の傷みや血生臭さが少なく特においしいそうです。

林さんは、津古の福田さんが実際に使っていた無双網と仕掛けの模型を埋蔵文化財センターで見せてもらい、仕組みを調べました。



長さ 15m 80cm

幅 1m 90cm

埋蔵文化財センターで本物の無双網を見させていただきました



無双網による猟を再現

協力：埋蔵文化財センターイメージキャラ「つっこ」

お手伝いしました



### 捕まえたカモはどうやって食べるの？

林さんは、この疑問を解くべく鴨料理専門店「さとう別荘」にも取材！(実食は今後の課題だそうです)

猟師さんの数は減りましたが、うちで扱っているカモの大半が小郡産。年間2,000羽ほどのカモを調理します。おすすめの食べ方は御狩場焼き。無双網で捕ったカモの味がそのまま味わえますよ。



さとう別荘の女将さんの有国さん

優秀賞

## 「古賀竈門神社のナンデ？」



なかち いちか  
中地 一珈さん(三国小4年)

近所の神社と同名の神社が力武や西島にもあると知り「ナンデ？」と思った中地さん。太宰府につながる神社のおこりや人気コミックスとの関わりを聞き取りや現地調査で追求した行動力は素晴らしいの一言。コンパクトな新聞形式の発表方法も評価されました。

調べるのもまとめるのも楽しかったです。インタビューに協力してくれたおばあちゃんは、特に受賞を喜んでくれました。近所の古賀竈門神社は昔からみんなに愛されていて、縁結びにご利益があるといいます。たくさんの方に知ってもらい、お参りに来てほしいです。次は川にある「堰」のことを調べてみたいです。

優秀賞

## 「小郡にある境石」



いしみつ れいな  
石光 礼奈さん(のぞみが丘小6年)

家の近くに江戸時代の「境石」があることを知った石光さん。文献資料や聞き取りで境石と一里塚の意味を調べるだけでなく、実際に薩摩街道を4km歩き(!)、当時の旅人を追体験した探求心が高く評価されました。

街道を歩こうと思ったのは、昔の人の苦勞を知りたかったから。暑い中付き添ってくれたお母さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。研究がきっかけで、今では外を歩いていて石碑を見かけると「あれは何だろう？」と思うように。学べば学ぶほど知らなかったことがわかるようになるのがとても楽しいです。

優秀賞

## 「昭和28年の西日本大水害について」



しんむら なつみ  
進村 夏美さん(三国中1年)

豪雨災害が多発する中、「昭和28年の大水害」(28水)に焦点をあてたタイムリーな研究です。精力的に市内外の関係機関を訪ねて調査取材を重ね、そこから得た先人の苦勞や助け合いの精神が現代にも生かせると考えた点が評価されました。

調べてわかったのは、28水は想像以上の災害だったこと、そして救助や復興に関わったたくさんの方の努力と優しさで今の小郡ができています。膨大な情報を整理するのは大変でしたが、各施設で昔の資料がきちんと保管されているのを見て、記録の大切さを実感しています。周りの人にも学びの成果を伝えたいです。

子どもたちがふるさと小郡の歴史を調べて発信する「小郡ジュニア歴史博士」。第8回を迎える今年度は、コロナ禍で取材や制作に制約があった中、161点もの作品応募がありました。ちょっとした「？」を見逃さない、鋭い着眼点が印象的だった26の受賞作品のうち、大賞と優秀賞をご紹介します。